

特集 ファブリックで秋色にチェンジ

夏から秋へ、お部屋丸ごと大変身!

涼しさや爽やかさが演出のテーマとなる夏のインテリアに対して、暖かさやゴージャスさが表現できる秋。ファブリックを変えるだけで、雰囲気はもちろん体感温度まで変化を感じます。

インテリアコーディネーターの三島嘉子さんに、三島さんが実際にコーディネートを手掛けた佐伯区の吉迫邸を、秋色にチェンジしてもらいました。

秋色の部屋



秋の演出には、深みのある赤をメインカラーにセレクト。雰囲気がぐっと華やかになりました。暖色系の色彩に加え、厚みのあるテクスチャーの効果で部屋全体の空気が暖かくなります

夏色の部屋



夏のリビングルームは、海を思わせる鮮やかなブルーを基調にコーディネート。クッションやテーブルセンターなど、ポイントに使ったブルーが涼しげな印象です

秋色にチェンジ



思い切ったイメージチェンジはカーテンで

カーテンは面積が大きい分、部屋の印象を大きく左右します。カーテンのショールームを持つ三島さんには、「どんなカーテンを選べばいいの」という相談が多く寄せられるそうで「アドバイスのために必ず部屋を見せてもらいます。家具や床の色など、カーテンだけで考えるのではなく、他のインテリアとの相性も大事です」。

好きな色や柄を選ぶと同時に、部屋全体のバランスを考えるのがポイントです。



カーテンの端切れでくんだだけの簡単チェンジ。印象が大きく変わるのも布の力です

シックなカラーと厚みのある素材でお部屋を秋色に染めるカーテン地。柄や織りで個性を演出



タッセルは機能性だけでなく、さりげないアクセントになります。共布ではなく凝ったタッセルにすると、とてもおしゃれな雰囲気に



カーテン選びのポイント

- ★ 家具や床の色とのバランスを考える
- ★ 色だけでなく素材感も大切に
- ★ 雰囲気を大きく変えたいときは、思い切った色選びもお薦め
- ★ クッションカバーやテーブルセンターにカーテンの1色を使う
- ★ 子ども部屋などには遊び心のある色・デザインを



Prism 三島嘉子さん

取り換えが面倒なカーテンはそのまましがちです。が、思い切って春夏、秋冬を意識して掛け替えると、同じ部屋とは思えないほどイメージが変わります。吉迫邸のリビングルームでは、ロココ調の家具に合わせて陰影のある赤を使用しました。ソファやテーブルなど、他の箇所にも同じ色を使うことで全体のバランスが整います。

〈取材協力〉Prism 広島市安佐南区中筋1-19-58 波多野ビル101 TEL082-831-6033